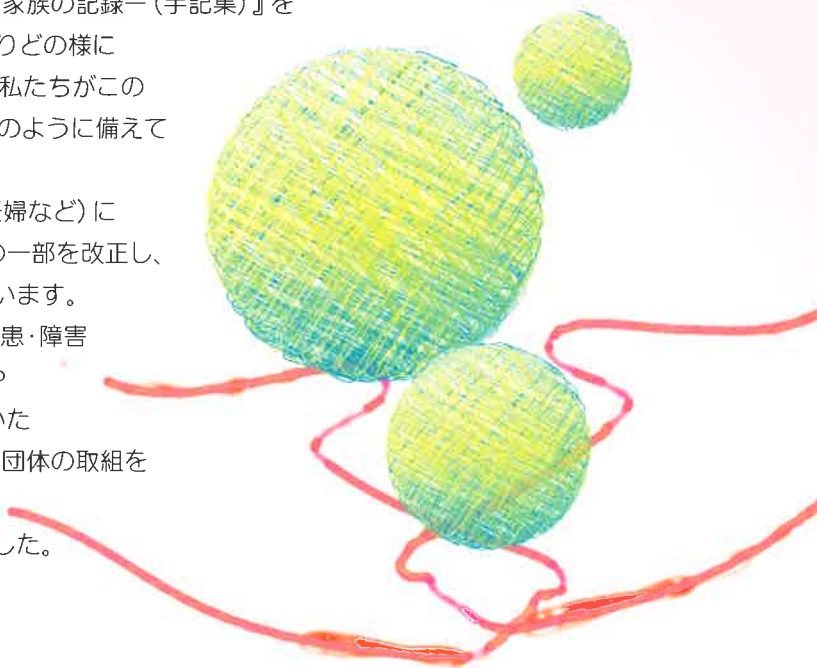


難病や障害のある子の災害対策を考える

当会では、2012年4月に『東日本大震災―難病の子ども達と家族の記録―(手記集)』を発行し、患者、医師、看護師、支援者の方々の「その時何が起こりどの様に行動したか」をまとめました。時が過ぎるとその記憶も薄れ、私たちがこの震災から何を学び、次ぎにどこかで起こるであろう災害に、どのように備えていくのかを考える時期が来ているのではないかと考えます。

国は内閣府を中心に、要配慮者(障がい者、高齢者、乳幼児や妊婦など)における災害対応について詳細な検討を行い、災害対策基本法の一部を改正し、地方自治体は地域災害計画の更なる検討・修正に取り組んでいます。今回、国・地方自治体での災害時要配慮者対策が、難病・慢性疾患・障害のある児童およびその家族のためになるよう、震災の経験者や被災者を支援して頂いた医師、災害時要配慮者対策を検討頂いた関係者を交えて、国・地方自治体の取組、医療機関の取組、患者団体の取組を相互に理解し、これから更に解決すべき内容について理解しあうことを目的として、このシンポジウムを企画しました。



■ 特別講演 13:15

「災害に向けて市町村でのこれからの取り組み(仮)」 仁志田 昇 司 (福島県伊達市長)

■ 基調講演 13:45

「災害を共に生き抜く」 田 中 淳 (東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター長・教授)

■ シンポジウム 14:30

本 田 義 信 (いわき市立総合磐城共立病院未熟児・新生児科主任部長)
 松 田 直 (東北大学病院 総合周産期母子医療センター 副部長・准教授)
 安 藤 健 二 (二分脊椎症の子を持つ父親)
 川 島 育 子 (自閉症の子を持つ母親)
 大 塚 孝 司 (人工呼吸器をつけた子の親の会会長)

■ 全体討論 15:45

座 長……………三 平 元 (難病の子ども支援全国ネットワーク運営委員)
 木 原 久 (難病の子ども支援全国ネットワーク運営委員)

※敬称略。プログラムに変更のあった時はご容赦ください。

■ 日 時: 平成26年6月21日(土) 13:00~17:00

■ 場 所: 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟国際会議室

東京渋谷区神園町3-1 交通: 電車 小田急線 参宮橋駅から徒歩7分/地下鉄千代田線 代々木公園駅から徒歩10分
 バス 新宿駅西口(16番より)代々木5丁目下車/渋谷駅西口(14番より)代々木5丁目下車

■ 定 員: 先着250名(参加希望者は当日直接ご来場ください)
 ※事前申し込みは受け付けていません。※ただし、託児は事前申し込みが必要です。

■ 参加費: 無 料
 ■ 主 催: 認定NPO法人 難病の子ども支援全国ネットワーク

■ 協 力: 親の会連絡会参加58団体

■ 後 援: 厚生労働省、日本小児科学会、日本小児外科学会、日本小児保健協会、日本小児科医会、日本小児看護学会、日本育療学会(申請中)

■ 助 成: 公益財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団、一般財団法人日本児童教育振興財団



開催中の
託児を実施します

希望される方は6月13日(金)までに
電話でお申込みください。

☎03-5840-5972